

■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井 博文



■ 今年1年を振り返って

今年は、苦しかった財政危機を何とか乗り越え、合併特例債を活用したまちの基盤整備に着手しかけた矢先に、7月15日厚狭地区が未曾有の水害に見舞われ、辛く悲しく苦しい1年になりました。被災されたみなさん、少しは元気を取り戻されたでしょうか。早速、国・県は厚狭地区の水害を河川激甚災害に指定し、約80億円規模の特別緊急事業に取り組んでくれています。このハード面の外にソフト面では、水害後本市の全域で、市民のみなさんの手による自主防災組織の立ち上げが進んでいます。こうしたハード、ソフトの両面が整備されることにより、厚狭地区が「水に弱い」地域から「水に強い」地域へと変身するのではないかと強く期待しています。誤解を恐れずにいえば「災いを転じて福」としたいのです。

本市は10月1日を「女性の日」と定めました。日ごろ裏方役を引き受けることの多い女性に感謝するとともに、男女共同参画社会をさらに発展させる契機にしたい、これが「女性の日」制定の理由です。10月は山口県の男女共同参画推進月間でもあります。山陽小野田市においても、女性の日には男女共同参画社会の推進に思いを至し、着実に少しずつ、男女ともに人権が尊重される社会、方針決定過程などあらゆる分野に女性が参画する社会、女性の仕事と家庭・地域生活の両立が可能な社会の実現を目指したいと考えます。

10月24日、市役所の玄関前に市民憲章碑が誕生しました。その他、市民憲章がプレートになったり、額に入ったりして、市内のあちこちに広まっています。早いもので今年は合併6年目を迎えました。ようやく本市の形が整い始めた感じを強めています。

■ 本市の高校生が活躍しています

この11月、本市高校生の相次ぐ活躍が目立ちました。浅野さん（小野田高2年）は「県高等学校家庭クラブ研究発表大会」で最優秀賞（県教育長賞）、厚狭高新聞部は「国際協力・国際理解賞コンクール」で国際開発ジャーナル社賞、佐野さん（サビエル高1年）は「高校生による国際交流体験感想文コンテスト」で最優秀賞（県知事賞）に選ばれました。昨年のことですが山下君（小野田工当時3年）も「県高校生ものづくりコンテスト旋盤の部」で優勝しています。みなさんおめでとう。



▲白井市長に受賞の報告をする浅野さん